



る場所になるのが理想です。
海藤 自身身そうだったのですが、働いている世代がなかなか足を向けられないという問題がある。利用時間もそうだけど、誰でも気軽に来られる雰囲気作りとかね。
鈴木 習い事やスポーツなどで、子ども達は忙しいようですね。だけど、自分の好きな分野の本がたくさんあり、ゆっくり読めるスペースがあったら、わくわくして本を手にするのでは。
 図書館に泊まって、一晩好きな本を読むという企画をしている所もあるそうですね。様々な人に足を運んでもらえる楽しい企画を心待ちにしています。
東海林 夜間開放とかいろいろ企画にチャレンジしてもらいたい。それから、親子の読書活動というところでもお母さんが主体になるので、お父さんを引っ張り出すアイデア、男性目線の工夫も必要だと思います。



矢作 私の子供は時刻表が大好きだった。きっかけはやはり本でしたが、子ども達がどのようなものに出会うのかは分からない。だから多彩な事柄に触れる環境として、図書室という空間はすごく重要。小中学校に行っても、図書の展示はとも工夫されているし、今の子どもたちはとても恵まれた環境にいると思うよ。
岩井 大石田町では、昭和30年代には司書を全学校に配置していました。図書の先生がいるのといないのでは全然違う。そのあたりも他市町村とは少し思い入れが違ったのかなと思います。
知ること・学ぶこと・発信すること
海藤 調べ物などによく利用させてもらう身としては、郷土資料の多さ

もこの図書室の特色だと思うね。一方で、大石田町のことを町民が知らないという現状はとももつたない。
岩井 資料をいかにして残すか、これはこれからの図書館にとって重要な課題。まだ資料になっていない歴史、たとえば各家庭の歴史なども貴重な資料だと思う。今はなんでもない日常の事柄でも、後々の時代に振り返れば、とても貴重な証言だったりするんじゃないかな。
矢作 方言も失われつつある貴重な文化だと思う。昔は町内でも地区によって言葉やアクセントがかなり違ってたし、私よりもっと上の世代でないと発音できないような言葉もあった。
岩井 老人いこいの家にも、とんと昔語りの会さんがまとめた「大石田



の方言」が置いてありますが、お年寄りの方がとても熱心に読んでいますね。
海藤 どの本にも載っていない「幻の方言」のような言葉もあるね。
東海林 デジタルで音声を残すというの、後世に伝えるための方法のひとつだと思えます。
石川 たとえば自分史とか、どこにでもそれぞれの歴史がありますよね。方言もそのままにしていればだんだんと失われてしまいます。学ぶことの面白さを伝えてゆくことと同時に、発信する人、文字に残す人を増やすこともこれからの図書館の役割だと思います。
鈴木 これは大石田町独自の活動だと思えますが、小・中学校の教室に「とんと昔語りの会」と、「絵本読み語りの会」が一緒に入り活動する機会があります。
 新しい図書館が、歴史や科学、昆虫など自分の好きな分野を知りたい、また発信したいという方をサポートする場所になるといいですね。



これからの図書館活動
岩井 これからの図書館に高齢者という視点は欠かせない。残念ながら町内に高齢者の居場所はあまり無いので子ども達だけでなく、高齢者にとってもいこいの場になればいいと思います。
鈴木 月に1回、お年寄り向けにも読み聞かせをしています。お年寄りだからと昔話を選んでしまいがちだけど、他の本も読んで頼まれます。図鑑や写真絵本は人気があって、いつも見ているけれど知らなかったねとか、知ることの楽しさは大人でも子どもでも変わらない。まず、知ることが楽しいと思ってもらうこと、本が人生を豊かにしてくれることに気づいてもらうことが大事で、読み聞かせをきっかけに図書室へ直接来るようになった方もいると思う。
石川 年配の方々は皆さんとても物知りで面白いお話をたくさん持っている。でも、他の世代の方がそれに耳を傾けていない。町立図書館がお年寄り子どもたちが触れ合えたり、いろいろな世代の交流の場になって、利用者それぞれが生きがいを見つ



る場所になるといいですね。
鈴木 月に1回、お年寄り向けにも読み聞かせをしています。お年寄りだからと昔話を選んでしまいがちだけど、他の本も読んで頼まれます。図鑑や写真絵本は人気があって、いつも見ているけれど知らなかったねとか、知ることの楽しさは大人でも子どもでも変わらない。まず、知ることが楽しいと思ってもらうこと、本が人生を豊かにしてくれることに気づいてもらうことが大事で、読み聞かせをきっかけに図書室へ直接来るようになった方もいると思う。
石川 年配の方々は皆さんとても物知りで面白いお話をたくさん持っている。でも、他の世代の方がそれに耳を傾けていない。町立図書館がお年寄り子どもたちが触れ合えたり、いろいろな世代の交流の場になって、利用者それぞれが生きがいを見つ